

スマートフォンを用いた天体観測の推進

宇宙広報団体TELSTAR 関西支部 初代代表 打海将平

宇宙広報団体TELSTARとは

宇宙広報団体TELSTARは、宇宙をフィールドに活躍する多種多様な人材を創出するため、宇宙への興味の入りを提供する活動を行っている。進路選択の重要な時期である中高生をメインターゲットとして、宇宙フリーマガジンTELSTARの発行を中心に、ウェブサイト・SNSによる情報発信やイベントなどの広報活動を推進している。なお宇宙フリーマガジンTELSTARは年48,000部、これまでに累計130,000部発行し、全国の高校・科学館にて配布している。

天文分野の普及活動

これまで工学分野の広報活動に力を入れてきたが、宇宙開発を支える上で工学分野中心の広報では不十分に思う。宇宙開発を支える上では天文分野の広報も重要であると考え、関西支部では天文分野の広報活動に力を入れている。今は、特に天文・宇宙分野で実践しやすい星空の楽しみ方について検討し、新規分野の提言・広報活動を企業・自治体・写真家などからご協力を頂きながら進めている。

天体写真・星空写真を撮るということ

天文・宇宙が好きな人ならだれでも一度は星を撮りたいと思うはずだ。そこで、まずは入門用の天体望遠鏡や一眼レフカメラを購入する人も多いが、値段の高さに諦める人も多い。入門用の経緯台+天体望遠鏡や、一眼レフでは撮影できる対象が限られてしまい、撮影分野を広げるには多額の費用が必要になる。そこで、本企画では今や日常生活において必須となった「スマートフォン（スマホ）」に着目した。

スマホで撮る星空と天体写真

今や一眼レフで撮れてスマホで撮れないものはほとんどないといっても過言ではない。天体写真も例外ではない。図2、図3はスマホで撮影した星景写真と天体写真である。このようにスマホでも十分に星空を撮ることができるが、撮影方法を知らずに使用している人が多い。TELSTARはまず星空を撮る正しい方法に重点を置き、広報活動を行っている。

今後の進展

これら企画を2017年8月より企業・写真家と議論を進め2018年2月中旬より、記事として公開する。また、協力企業、TELSTARの広報力を活かし世にスマホで星空を撮るということを広めていきたい。また、天体写真は赤道儀を必要とし15万円を超えるのが現状である。そこで、今回ご協力を頂いている企業と議論を進め、3月初旬を目途に入門用天体望遠鏡を購入する費用以下、もしくは同程度で天体写真を撮る方法を公開する予定だ。

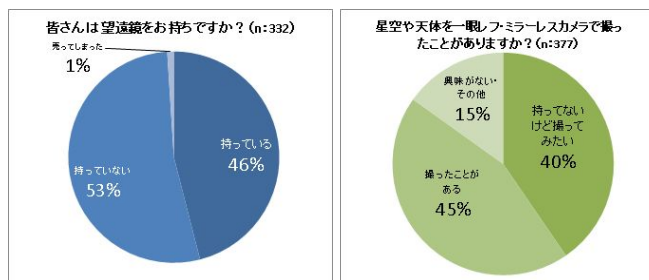


図.1 天体望遠鏡の所有と天体写真に関する調査 (TELSTAR調べ)

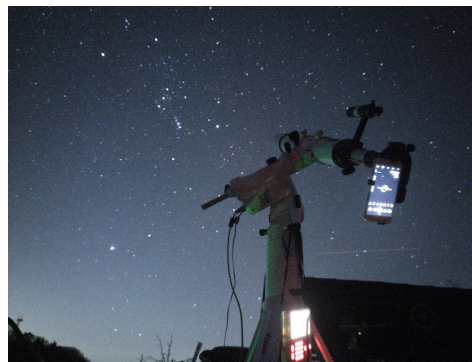


図.2 スマホで撮影した星景写真

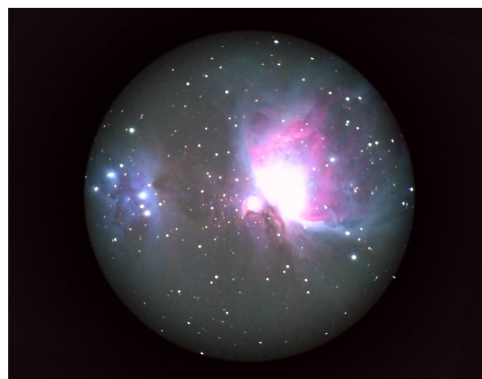


図.3 スマホと望遠鏡で撮影した天体写真

本企画の協賛・協力

・天体観測機材・撮影機材
株式会社ビクセン

・スマートフォン端末
ASUS JAPAN株式会社

・天体観測機材・撮影・作例協力
天体写真家 吉田隆行 様

本企画にご協力頂き、心より感謝申し上げます。



宇宙広報団体TELSTAR

WEB : <http://spacemgz-telstar.com/>